

平成 25 年 度

北秋田市公営企業会計決算審査意見書

北秋田市監査委員

北 秋 監 080005
平成26年8月25日

北秋田市長 津 谷 永 光 様

北秋田市監査委員 久留嶋 正夫

北秋田市監査委員 戸 嶋 廣 實

北秋田市監査委員 黒 澤 芳 彦

平成25年度 北秋田市公営企業会計決算審査意見の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された平成25年度北秋田市水道事業会計及び同病院事業会計の決算並びに関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出する。

目 次

1.	審査の対象	1
2.	審査の期間	1
3.	審査の方法	1
4.	審査の結果	1
◆ 水道事業会計		
(1)	収支決算の概要	2
(2)	予算執行状況	2
(3)	経営成績	8
(4)	財務状況	10
(5)	たな卸資産受払状況	14
(6)	地方債現在高	14
(7)	むすび	14
◆ 病院事業会計		
(1)	収支決算の概要	16
(2)	予算執行状況	16
(3)	経営成績	25
(4)	財務状況	26
(5)	地方債現在高	29
(6)	むすび	29

平成25年度北秋田市公営企業会計 決算審査意見

1. 審査の対象

平成25年度 北秋田市水道事業会計
平成25年度 北秋田市病院事業会計

2. 審査の期間

平成26年6月9日 から 平成26年8月11日 まで

3. 審査の方法

審査は、各事業の決算書類が地方公営企業法及び関係する諸法令並びに企業の財務に関する諸規則等に準拠して作成され、かつ企業の財政状態及び経営成績が適正に表示されているかを審査するため、会計帳票や証拠書類との照合及び関係職員からの説明聴取により実施した。また、貯蔵品については平成26年3月28日に実地確認した。

4. 審査の結果

審査に付された各事業の決算書類は、適正に作成及び表示されており、計数についてもそれぞれの関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、いずれも正確であると認められた。

また、貯蔵品についても保管状況、出納事務はおおむね適正であると認められた。

なお、各事業に係る予算の執行状況及び経営成績の概要と所見等は、次のとおりである。

平成25年度 水道事業会計

1. 収支決算の概要

(1) 収益的収支

収益的収入	157,913,579 円
収益的支出	140,689,003 円
差引額	17,224,576 円

(2) 資本的収支

資本的収入	0 円
資本的支出	33,969,710 円
差引額	△ 33,969,710 円

収益的収支では、収入額から支出額を差し引いた額が17,224,576円となるが、この額から更に消費税相当額 1,185,391円を差し引いた16,039,185円が当年度の純利益となっている。

また、資本的収支では、33,969,710 円の不足となっているが、これについては減債積立金 26,502,093円、過年度分損益勘定留保資金 7,112,017円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 355,600円で補填されている。

2. 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

① 収入

収益的収入については、予算現額155,600,000円に対し、決算額が157,913,579円となっており、収入率は 101.5%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
営業収益	予 算 現 額 (A)	155,441,000	156,159,000	△ 718,000
	決 算 額 (B)	157,699,827	157,374,515	325,312
	増 減 額 (B)-(A)	2,258,827	1,215,515	1,043,312
	収 入 率 (B)/(A)	101.5%	100.8%	0.7%
営業外収益	予 算 現 額 (A)	102,000	48,000	54,000
	決 算 額 (B)	158,102	75,907	82,195
	増 減 額 (B)-(A)	56,102	27,907	28,195
	収 入 率 (B)/(A)	155.0%	158.1%	△ 3.1%
特別利益	予 算 現 額 (A)	57,000	229,000	△ 172,000
	決 算 額 (B)	55,650	228,312	△ 172,662
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,350	△ 688	△ 662
	収 入 率 (B)/(A)	97.6%	99.7%	△ 2.1%
計	予 算 現 額 (A)	155,600,000	156,436,000	△ 836,000
	決 算 額 (B)	157,913,579	157,678,734	234,845
	増 減 額 (B)-(A)	2,313,579	1,242,734	1,070,845
	収 入 率 (B)/(A)	101.5%	100.8%	0.7%

ア. 営業収益について

営業収益は、予算現額に対して 101.5%の収入率となっているが、そのうち給水収益である水道料金が89.6%を占めている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較		
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率	
給水収益	141,367,561	89.6%	143,283,259	91.0%	△ 1,915,698	△ 1.34%	
受託工事収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%	
その他営業収益	材料売却収益	1,870	0.0%	0	0.0%	1,870	皆増
	手数料	509,900	0.3%	450,600	0.3%	59,300	13.16%
	加入金	3,740,000	2.4%	3,730,000	2.4%	10,000	0.27%
	雑収益	2,483,272	1.6%	2,446,385	1.6%	36,887	1.51%
	計	6,735,042	4.3%	6,626,985	4.2%	108,057	1.63%
補償金	2,110,823	1.3%	0	0.0%	2,110,823	皆増	
小計	150,213,426	95.3%	149,910,244	95.3%	303,182	0.20%	
仮受消費税及び地方消費税	7,486,401	4.7%	7,464,271	4.7%	22,130	0.30%	
合計	157,699,827	100.0%	157,374,515	100.0%	325,312	0.21%	

○ 給水収益

給水収益は、前年度と比較して1,915,698円の減収となっている。これは給水量21,659m³の減に伴うものである。

○ 受託工事収益

受託工事収益は、当年度決算額0円である。

○ その他営業収益

その他営業収益 6,735,042円は、対前年度比 108,057円 (1.63%) の増となっているが、これは設計及び完成検査手数料、下水道データ使用料の増によるものである。

○ 補償金

補償金2,110,823円は、下水道工事に伴う配水管修理等に対するものである。

イ. 営業外収益について

営業外収益では、予算現額102,000円に対して158,102円の収入額となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
受取利息及び配当金	115,031	72.8%	42,607	56.1%	72,424	169.98%
雑収益	41,091	26.0%	31,770	41.9%	9,321	29.34%
小計	156,122	98.7%	74,377	98.0%	81,745	109.91%
仮受消費税及び地方消費税/還付金	1,980	1.3%	1,530	2.0%	450	29.41%
合計	158,102	100.0%	75,907	100.0%	82,195	108.28%

○ 受取利息及び配当金

当年度決算額 115,031円は、定期預金利息であり、前年度と比較して72,424円 (169.98%) の増となっている。

○ 雑収益

当年度決算額41,091円は、前年度と比較して9,321円 (29.34%) の増となっているが、これは工事台帳代金の増によるものである。

ウ. 特別利益について

特別利益は、予算現額57,000円に対し、決算額は55,650円となっている。これは車両の売却によるものである。

② 支出

収益的支出については、予算現額152,858,000円に対し、決算額が140,689,003円となっており、執行率は92.0%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
営業費用	予算現額 (A)	140,885,000	129,595,000	11,290,000
	決算額 (B)	130,638,139	123,029,183	7,608,956
	不用額 (A)-(B)	10,246,861	6,565,817	3,681,044
	執行率 (B)/(A)	92.7%	94.9%	△ 2.2%
営業外費用	予算現額 (A)	7,073,000	8,685,000	△ 1,612,000
	決算額 (B)	6,995,119	7,388,507	△ 393,388
	不用額 (A)-(B)	77,881	1,296,493	△ 1,218,612
	執行率 (B)/(A)	98.9%	85.1%	13.8%
特別損失	予算現額 (A)	2,900,000	2,335,000	565,000
	決算額 (B)	3,055,745	2,385,429	670,316
	不用額 (A)-(B)	△ 155,745	△ 50,429	△ 105,316
	執行率 (B)/(A)	105.4%	102.2%	3.2%

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
予 備 費	予 算 現 額 (A)	2,000,000	2,000,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	不 用 額 (A)-(B)	2,000,000	2,000,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
計	予 算 現 額 (A)	152,858,000	142,615,000	10,243,000
	決 算 額 (B)	140,689,003	132,803,119	7,885,884
	不 用 額 (A)-(B)	12,168,997	9,811,881	2,357,116
	執 行 率 (B)/(A)	92.0%	93.1%	△ 1.1%

ア. 営業費用について

営業費用の決算額は、予算現額に対して92.7%の執行率となっており、その内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
原水及び浄水費	24,732,844	18.9%	25,089,314	20.4%	△ 356,470	△ 1.42%
配水及び給水費	29,706,678	22.7%	25,390,077	20.6%	4,316,601	17.00%
受託工事費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
総係費	34,732,118	26.6%	31,192,867	25.4%	3,539,251	11.35%
減価償却費	39,258,045	30.1%	39,546,262	32.1%	△ 288,217	△ 0.73%
資産減耗費	43,125	0.0%	0	0.0%	43,125	皆増
その他営業費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	128,472,810	98.3%	121,218,520	98.5%	7,254,290	5.98%
仮払消費税及び地方消費税	2,165,329	1.7%	1,810,663	1.5%	354,666	19.59%
合計	130,638,139	100.0%	123,029,183	100.0%	7,608,956	6.18%

○ 原水及び浄水費

当年度決算額24,732,844円は、前年度と比較して356,470円(1.42%)の減となっているが、主な要因は、監視制御装置点検委託料等の減である。

○ 配水及び給水費

当年度決算額29,706,678円は、前年度と比較して4,316,601円(17.00%)の増となっているが、主な要因は、メータ更新に係る委託料及び修繕費の増である。

○ 受託工事費

当年度の決算額は、0円である。

○ 総係費

当年度決算額34,732,118円は、前年度と比較して3,539,251円(11.35%)の増となっているが主な要因は、補償費の支出増によるものである。

○ 減価償却費

当年度決算額39,258,045円は、建物や機械・装置など有形固定資産減価償却費であり、前年度と比較して288,217円(0.73%)の減となっている。

○ 資産減耗費

当年度決算額43,125円は、棚卸資産減耗費である。

○ その他営業費用

当年度の決算額は、0円である。

イ. 営業外費用について

営業外費用は、予算現額に対して98.9%の執行率であり、そのうち支払利息及び企業債取扱諸費（企業債利子償還金）が42.9%を占めている。なお、営業外費用の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
支払利息及び企業債取扱諸費	3,000,319	42.9%	3,548,440	48.0%	△ 548,121	△ 15.45%
雑支出	0	0.0%	30,667	0.4%	△ 30,667	皆減
小計	3,000,319	42.9%	3,579,107	48.4%	△ 578,788	△ 16.17%
消費税及び地方消費税中間納付	3,994,800	57.1%	3,809,400	51.6%	185,400	4.87%
合計	6,995,119	100.0%	7,388,507	100.0%	△ 393,388	△ 5.32%

○ 支払利息及び企業債取扱諸費

当年度決算額3,000,319円は、企業債に係る利息償還金で、前年度と比較して548,121円(15.45%)の減となっている。

○ 雑支出

当年度の決算額は、0円である。

ウ. 特別損失について

特別損失は、予算現額に対して105.4%の執行率となっており、その内容及び前年度との比較状況は次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
固定資産売却損	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
過年度損益修正損	2,910,234	95.2%	2,271,860	95.2%	638,374	28.10%
小計	2,910,234	95.2%	2,271,860	95.2%	638,374	28.10%
仮払消費税及び地方消費税	145,511	4.8%	113,569	4.8%	31,942	28.13%
合計	3,055,745	100.0%	2,385,429	100.0%	670,316	28.10%

○ 固定資産売却損

当年度の決算額は、0円である。

○ 過年度損益修正損

当年度決算額2,910,234円は、過年度分料金漏水軽減及び不納欠損金である。

(2) 資本的収入及び支出

① 収入

資本的収入は、予算現額 4,001,000円に対し、決算額は0円となっている。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
固定資産売却 代金及び補償 費	予 算 現 額 (A)	4,001,000	1,000	4,000,000
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	△ 4,001,000	△ 1,000	△ 4,000,000
	収 入 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%

② 支出

資本的支出は、予算現額40,840,000円に対し、決算額は33,969,710円となっており、執行率は83.2%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
建設改良費	予 算 現 額 (A)	14,337,000	6,262,000	8,075,000
	決 算 額 (B)	7,467,617	4,635,918	2,831,699
	不 用 額 (A)-(B)	6,869,383	1,626,082	5,243,301
	執 行 率 (B)/(A)	52.1%	74.0%	△ 21.9%
企業債償還金	予 算 現 額 (A)	26,503,000	25,955,000	548,000
	決 算 額 (B)	26,502,093	25,953,972	548,121
	不 用 額 (A)-(B)	907	1,028	△ 121
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%
投 資	予 算 現 額 (A)	0	50,100,000	皆減
	決 算 額 (B)	0	50,000,000	皆減
	不 用 額 (A)-(B)	0	100,000	皆減
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	99.8%	皆減
計	予 算 現 額 (A)	40,840,000	82,317,000	△ 41,477,000
	決 算 額 (B)	33,969,710	80,589,890	△ 46,620,180
	不 用 額 (A)-(B)	6,870,290	1,727,110	5,143,180
	執 行 率 (B)/(A)	83.2%	97.9%	△ 14.7%

ア. 建設改良費について

建設改良費の決算額は、予算現額に対して52.1%の執行率となっており、その内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
水道建設事業費	4,630,000	62.0%	3,345,000	72.2%	1,285,000	38.42%
営業設備費	2,482,017	33.2%	1,070,160	23.1%	1,411,857	131.93%
小計	7,112,017	95.2%	4,415,160	95.2%	2,696,857	61.08%
仮払消費税及び地方消費税	355,600	4.8%	220,758	4.8%	134,842	61.08%
合計	7,467,617	100.0%	4,635,918	100.0%	2,831,699	61.08%

○ 水道建設事業費

当年度決算額 4,630,000円は、新規配水管布設工事を行なった前年度と比較して38.42%の増となっている。

○ 営業設備費

当年度決算額2,482,017円は、対前年度比131.93%の増となっているが、これは広報車両を新規購入したことによるものである。

イ. 企業債償還金について

企業債償還金については、予算現額に対し100.0%の執行率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
企業債償還金	26,502,093	100.0%	25,953,972	100.0%	548,121	2.11%
合計	26,502,093	100.0%	25,953,972	100.0%	548,121	2.11%

○ 企業債償還金

当年度決算額26,502,093円は、企業債の元金償還金であり、前年度と比較して2.11%の増となっている。

ウ. 投資について

投資については、当年度決算額0円である。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
投資	0	0.0%	50,000,000	100.0%	△ 50,000,000	皆減
合計	0	0.0%	50,000,000	100.0%	△ 50,000,000	皆減

3. 経営成績（消費税抜き）

(1) 事業損益

当年度の経営では、16,039,185円の純利益を生じており、前年度と比較して30.70%の減となっている。なお、その内容は次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
営業収益 A	150,213,426	149,910,244	303,182	0.20%
うち受託工事収益	0	0	0	0.00%
営業費用 B	128,472,810	121,218,520	7,254,290	5.98%
うち受託工事費用	0	0	0	0.00%
営業利益 (A-B) C	21,740,616	28,691,724	△ 6,951,108	△ 24.23%
営業外収益 D	156,122	74,377	81,745	109.91%
営業外費用 E	3,000,319	3,579,107	△ 578,788	△ 16.17%
営業外利益 (D-E) F	△ 2,844,197	△ 3,504,730	660,533	△ 18.85%
経常利益 (C+F) G	18,896,419	25,186,994	△ 6,290,575	△ 24.98%
特別利益 H	53,000	228,312	△ 175,312	△ 76.79%
特別損失 I	2,910,234	2,271,860	638,374	28.10%
特別利益 (H-I) J	△ 2,857,234	△ 2,043,548	△ 813,686	39.82%
当年度純利益 (G+J) K	16,039,185	23,143,446	△ 7,104,261	△ 30.70%

(注) 当年度純利益 (K) 欄が「△」の場合は、純損失を示す。

(単位:円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
前年度未処分利益剰余金 L	23,194,242	23,350,796	△ 156,554	△ 0.67%
前年度利益剰余金処分額 M	23,100,000	23,300,000	△ 200,000	△ 0.86%
繰越利益剰余金年度末残高 (L-M) N	94,242	50,796	43,446	85.53%
当年度純利益 K	16,039,185	23,143,446	△ 7,104,261	△ 30.70%
当年度未処分利益剰余金 (N+K) O	16,133,427	23,194,242	△ 7,060,815	△ 30.44%
累積欠損金(O欄が△の場合)	0	0	0	0.00%

(注) L、N及びO欄が「△」の場合は、欠損金を示す。

(2) 業務量

年度末給水人口及び総配水量など主な業務量は、次のとおりである。

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減	増減率
年度末給水人口	9,512人	9,639人	△127人	△ 1.32%
普及率	89.78%	89.90%	△ 0.12%	△ 0.13%
年間総配水量	1,386,190m ³	1,399,740m ³	△ 13,550m ³	△ 0.97%
有効水量	1,098,992m ³	1,116,253m ³	△ 17,261m ³	△ 1.55%
年間有収水量	1,085,792m ³	1,107,451m ³	△ 21,659m ³	△ 1.96%
年間無収水量	13,200m ³	8,802m ³	4,398m ³	49.97%
無効水量	287,198m ³	283,487m ³	3,711m ³	1.31%
年間有収率	78.33%	79.12%	△ 0.79%	△ 1.00%
1日平均配水量	3,798m ³	3,835m ³	△ 37m ³	△ 0.96%
1日平均給水量	2,975m ³	3,034m ³	△ 59m ³	△ 1.94%
1日最大配水量	4,520m ³	4,580m ³	△ 60m ³	△ 1.31%

※ 1日配水能力 6,000m³

(3) 供給単価と給水原価

当年度の1m³当たりの供給単価は130.20円、給水原価は 121.09円であり、その差額9.11円が販売利益となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較		類似団体指標 (平成24年度)
			増減額	増減率	
供給単価	130.20	129.38	0.82	0.63%	178.45
給水原価	121.09	112.69	8.40	7.45%	193.57
差引	9.11	16.69	△ 7.58	△ 45.42%	△ 15.12

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型: d8)

(4) 施設の稼働状況

水道施設の利用状況は、次のとおりである。

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較		類似団体指標 (平成24年度)
			増減	増減率	
施設利用率	63.30%	63.92%	△ 0.62%	△ 0.97%	48.98%
最大稼働率	75.33%	76.33%	△ 1.00%	△ 1.31%	66.75%
負荷率	65.82%	66.24%	△ 0.42%	△ 0.63%	73.37%

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型： d 8)

(参考) ※ 施設利用率 = 1日平均配水量 / 1日配水能力 × 100
 ※ 最大稼働率 = 1日最大配水量 / 1日配水能力 × 100
 ※ 負荷率 = 1日平均給水量 / 1日最大配水量 × 100
 (1日配水能力=6,000m³)

4. 財務状況

(1) 資産及び負債・資本（消費税抜き）

当年度の資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分		平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
資産	固定資産 A	818,339,512	70.6%	850,485,540	72.5%	△ 32,146,028	△ 3.8%
	流動資産 B	341,398,530	29.4%	322,450,304	27.5%	18,948,226	5.9%
	うち現金預金	321,146,390	27.7%	307,480,679	26.2%	13,665,711	4.4%
	うち未収金	19,939,575	1.7%	14,726,935	1.3%	5,212,640	35.4%
	繰延勘定 C	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計 (A~C) D	1,159,738,042	100.0%	1,172,935,844	100.0%	△ 13,197,802	△ 1.1%	
負債	固定負債 E	5,000,000	0.4%	5,000,000	0.4%	0	0.0%
	流動負債 F	1,464,681	0.1%	4,199,575	0.4%	△ 2,734,894	△ 65.1%
	計 (E+F) G	6,464,681	0.6%	9,199,575	0.8%	△ 2,734,894	△ 29.7%
資本	資本金 H	882,638,758	76.1%	882,638,758	75.3%	0	0.0%
	うち自己資本金	759,837,129	65.5%	733,335,036	62.5%	26,502,093	3.6%
	剰余金 I	270,634,603	23.3%	281,097,511	24.0%	△ 10,462,908	△ 3.7%
	計 (H+I) J	1,153,273,361	99.4%	1,163,736,269	99.2%	△ 10,462,908	△ 0.9%
負債・資本 計 (G+J)	1,159,738,042	100.0%	1,172,935,844	100.0%	△ 13,197,802	△ 1.1%	

○ 資産

資産を前年度と比較すると、固定資産が3.8%の減となるものの、流動資産が5.9%の増となっており、資産全体では1.1%の減となっている。

○ 負債

負債の対前年度比較では、消費税及び地方消費税未払金の減により、29.7%の減となっている。

○ 資本

資本の対前年度比較では、利益剰余金の減により、0.9%の減となっている。

(2) 主要財務指標（消費税抜き）

当年度の主要財務指標（比率）の状況は、次のとおりである。

① 流動比率

平成25年度		平成24年度 比 率	類似団体指標 (平成24年度)						
算 式	比 率								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>流動資産</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">341,398,530</td></tr> <tr><td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td>流動負債</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">1,464,681</td></tr> </table>	流動資産	341,398,530			流動負債	1,464,681	23,308.73%	7,678.17%	803.50%
流動資産									
341,398,530									
流動負債									
1,464,681									

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。（北秋田市上水道類型： d8 ）

※ 流動比率は、1年以内に「現金化できる資産」と「支払わなければならない負債」とを比較するもので、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれる。したがって、理想的な比率としては、200%以上であるといわれている。

② 酸性試験比率（当座比率）

平成25年度		平成24年度 比 率	類似団体指標 (平成24年度)									
算 式	比 率											
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>現金預金</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">321,146,390</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">+</td></tr> <tr><td>未収金</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">19,939,575</td></tr> <tr><td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td>流動負債</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">1,464,681</td></tr> </table>	現金預金	321,146,390	+	未収金	19,939,575			流動負債	1,464,681	23,287.39%	7,672.39%	796.15%
現金預金												
321,146,390												
+												
未収金												
19,939,575												
流動負債												
1,464,681												

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。（北秋田市上水道類型： d8 ）

※ 酸性試験比率は当座比率の別名で、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化しうる未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。

③ 自己資本構成比率

平成25年度		平成24年度 比 率	類似団体指標 (平成24年度)									
算 式	比 率											
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>自己資本金</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">759,837,129</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">+</td></tr> <tr><td>剰余金</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">270,634,603</td></tr> <tr><td colspan="2" style="border-top: 1px solid black;"></td></tr> <tr><td>負債・資本合計</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">1,159,738,042</td></tr> </table>	自己資本金	759,837,129	+	剰余金	270,634,603			負債・資本合計	1,159,738,042	88.85%	86.49%	66.05%
自己資本金												
759,837,129												
+												
剰余金												
270,634,603												
負債・資本合計												
1,159,738,042												

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。（北秋田市上水道類型： d8 ）

※ 自己資本構成比率は、総資本（負債・資本合計）に占める自己資本（自己資本金+剰余金）の割合を示すもので、比率が高いほど経営の安全性が大きいものといえる。

④ 経常収支比率

平成25年度		比率	平成24年度 比率	類似団体指標 (平成24年度)
算式				
(経常収益)		114.37%	120.18%	104.33%
営業収益	営業外収益			
150,213,426	156,122			
+				
(経常費用)				
営業費用	営業外費用			
128,472,810	3,000,319			
+				

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型： d8)

※ 経常収支比率は、経常収益対経常費用比率とも言われ、経常収益（営業収益+営業外収益）と経常費用（営業費用+営業外費用）を対比したもので、100%を超えることが目安となり、100%を超えるほど収益率が高い。

⑤ 営業収支比率

平成25年度		比率	平成24年度 比率	類似団体指標 (平成24年度)
算式				
営業収益	受託工事収益	116.92%	123.67%	107.20%
150,213,426	0			
-				
営業費用	受託工事費用			
128,472,810	0			
-				

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、当市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。(北秋田市上水道類型： d8)

※ 営業収支比率は、業務活動によってもたらされた営業収益とそれに要した営業費用とを対比することによって、業務活動の能率を示すもので、これによって経営の成否が判断される。比率が100%未満の場合は、営業収益で営業費用を賄えないことを示すため、経営の見直しなどが必要となる。

⑥ 現金預金比率

平成25年度		比率	平成24年度 比率	類似団体指標 (平成24年度)
算式				
現金預金		21,926.03%	7,321.71%	/
321,146,390				
÷				
流動負債				
1,464,681				

※ 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。

⑦ 主な費用構造比率

区分		平成25年度		平成24年度		類似団体指標 (平成24年度)	
		決算額	比率	決算額	比率		
費用	職員 給与 と 費	① 給与	19,559,895	28.29%	19,844,412	27.43%	17.34%
		② 手当	10,272,887		9,299,293		
		③ 賃金、報酬等	3,652,713		3,617,097		
		④ 法定福利費	6,501,806		6,548,572		
	計	39,987,301	39,309,374				
	企業債利息	3,000,319	2.12%	3,548,440	2.48%	12.40%	
	減価償却費	39,258,045	27.77%	39,546,262	27.60%	42.54%	
企業債償還元金	26,502,093	18.75%	25,953,972	18.11%	31.76%		
収益	給水収益	141,367,561		143,283,259			

(注) 「類似団体指標」欄は、上水道事業経営規模別類型のうち、本市上水道事業と同類型に属する全国上水道事業の平均値である。なお、比率算定は国が示す比率算定区分に従い、各費用をそれぞれの費目に分類したうえで算定している。

※ 費用構造比率は、給水収益（水道料金）に対する各費用の比率で、比率が高い場合には経営の見直しや費用等の節減を図る判断基準のひとつとなる。

(3) 収納状況（消費税込み）

① 当年度収納状況（消費税込み）

(単位:円、%)

区分		調定額	収納額	不納欠損額	未収額	収納率	
営業収益	給水収益	現年度	148,437,165	144,758,815	0	3,678,350	97.52%
		過年度	14,260,075	2,451,775	2,393,335	9,414,965	17.19%
		計	162,697,240	147,210,590	2,393,335	13,093,315	90.48%
	受託工 事 収 益	現年度	0	0	0	0	0.00%
		過年度	0	0	0	0	0.00%
		計	0	0	0	0	0.00%
	そ の 他 営 業 収 益	現年度	7,046,298	7,046,298	0	0	100.00%
		過年度	466,860	466,860	0	0	100.00%
		計	7,513,158	7,513,158	0	0	100.00%
	小計	現年度	155,483,463	151,805,113	0	3,678,350	97.63%
		過年度	14,726,935	2,918,635	2,393,335	9,414,965	19.82%
		計	170,210,398	154,723,748	2,393,335	13,093,315	90.90%
営業外収益	現年度	158,102	158,102	0	0	100.00%	
	過年度	0	0	0	0	0.00%	
	計	158,102	158,102	0	0	100.00%	
特別利益	現年度	55,650	55,650	0	0	100.00%	
	過年度	0	0	0	0	0.00%	
	計	55,650	55,650	0	0	100.00%	
収益的収入計	現年度	155,697,215	152,018,865	0	3,678,350	97.64%	
	過年度	14,726,935	2,918,635	2,393,335	9,414,965	19.82%	
	計	170,424,150	154,937,500	2,393,335	13,093,315	90.91%	
資本的収入計	現年度	0	0	0	0	0.00%	
	過年度	0	0	0	0	0.00%	
	計	0	0	0	0	0.00%	
合計	現年度	155,697,215	152,018,865	0	3,678,350	97.64%	
	過年度	14,726,935	2,918,635	2,393,335	9,414,965	19.82%	
	計	170,424,150	154,937,500	2,393,335	13,093,315	90.91%	

② 未収額内訳

(単位:円、%)

区分		未収額			備考
			うち水道料金以外	うち水道料金	
平成25年度	現年度	3,678,350	0	3,678,350	
	過年度	9,414,965	0	9,414,965	
	計	13,093,315	0	13,093,315	
平成24年度	現年度	4,559,610	466,860	4,092,750	
	過年度	10,167,325	0	10,167,325	
	計	14,726,935	466,860	14,260,075	
対前年度比較	現年度	△ 881,260	△ 466,860	△ 414,400	
	過年度	△ 752,360	0	△ 752,360	
	計	△ 1,633,620	△ 466,860	△ 1,166,760	

5. たな卸資産受払状況（消費税抜き）

当年度のたな卸資産の受払状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前年度末残高	本年度			本年度末残高
		受入高	払出高	減耗費	
材料(押輪他)	95,690	0	0	43,125	52,565
量水器	147,000	10,169,520	10,056,520	0	260,000
計	242,690	10,169,520	10,056,520	43,125	312,565

6. 地方債現在高

前々年度、前年度及び当年度末の地方債現在高は、次のとおりである。

(単位:千円)

区 分	平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	年度末現在高	対前年度増減率	年度末現在高	対前年度増減率	年度末現在高	対前年度増減率
水道事業会計	122,802	△ 17.75%	149,304	△ 14.81%	175,258	△ 12.67%

7. むすび

以上、予算執行状況及び財政状況、経営成績等についてその内容を審査した結果、経営成績では16,039千円が当年度の純利益となっており、前年度と比較して7,104千円の減益となっているが、その主な要因としては、給水収益の減収をはじめ水道メーターの更新経費の増幅や新規の補償費用などによるものである。供給単価に対する給水原価のバランスなどの推移からみて経営成績は安定的に推移しているものと判断する。

また、業務内容については、年間総配水量が1,386,190m³で、前年度と比較して13,550m³ (0.97%) の減となっている中で、無効水量が3,711m³ (1.31%) と引き

続き増加となっていることは、維持管理面の課題でもあることから、技術職員等の適正配置と育成をもとに、今後も有効・有収水量の向上にむけ配水本・支管等の日常的調査、点検の徹底による漏水防止対策の推進に努められたい。

財務状況では、資産のうち固定資産が前年度と比較し32,146千円（3.8%）の減となったものの、流動資産のうち現金・預金が対前年度比較で13,666千円（4.4%）増の321,146千円となり、資産全体では対前年度比較で13,198千円減の1,159,738千円となっている。また、一方の負債は、消費税及び地方消費税の未計上により前年度と比較して2,735千円（29.7%）減の6,464千円となっており、資本においては剰余金が対前年度比較で10,463千円（3.7%）減の270,634千円となっている。

これらの結果から財務状況を主な指標で判断すると、企業の支払能力を示す流動比率では、流動資産341,399千円に対し、流動負債1,465千円となっていることから十分であり、財務の長期健全性の良否を示す自己資本構成比率は88.85%で対前年度比2.73%増のとなり、更に、営業収支比率は116.92%で前年度と比較し6.75%の減少が見られるもののおおむね良好な状態で推移している。

しかしながら、水道事業経営の根幹をなす水道料金の未収額が13,093千円となっており、前年度と比較し1,167千円の減少となっているものの、不納欠損額が2,393千円で前年度に比べ562千円の増と年次増加している。水道事業経営が水道利用者の負担により賄われていることに鑑み、単に費用対効果に止まらない観点から、収納体制の強化を求めると同時に、長期滞納者に対する関係諸規定に基づく厳正な対処と長期滞納に至る前の取組みを更に求める。

【参考】

①水道事業類似団体類型区分

給水人口別区分	水源別区分	有収水量密度別区分
1 30万人以上	1 ダ → ダムを主とする	1 以上 → 全国平均以上
2 15万人～30万人	2 受 → 受水を主とする	2 未満 → 全国平均未満
3 10万人～15万人	3 表 → 表流水	
4 5万人～10万人	4 他 → その他	
5 3万人～5万人		
6 1.5万人～3万人		
7 1万人～1.5万人		
8 5千人～1万人		
9 5千人未満		

北秋田市上水道類型

区分	該当	類型
給水人口別区分	8	d8
水源別区分	4	
有収水量密度別区分	2	

平成25年度 病院事業会計

1. 収支決算の概要

(1) 収益的収支

収益的収入	515,718,215 円
収益的支出	873,399,521 円
差引額	△ 357,681,306 円

(2) 資本的収支

資本的収入	69,173,268 円
資本的支出	69,173,268 円
差引額	0 円

収益的収支では、収入額から支出額を差し引いた額が△357,681,306円となり、この額が当年度の純損失となっている。

2. 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

① 収入

収益的収入については、予算現額515,724,000円に対し、決算額が515,718,215円となっており、収入率は100.0%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
医 業 収 益	予 算 現 額 (A)	1,000	1,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,000	△ 1,000	0
	収 入 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
医 業 外 収 益	予 算 現 額 (A)	515,722,000	582,538,000	△ 66,816,000
	決 算 額 (B)	515,718,215	582,534,817	△ 66,816,602
	増 減 額 (B)-(A)	△ 3,785	△ 3,183	△ 602
	収 入 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%
特 別 収 益	予 算 現 額 (A)	1,000	1,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,000	△ 1,000	0
	収 入 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
計	予 算 現 額 (A)	515,724,000	582,540,000	△ 66,816,000
	決 算 額 (B)	515,718,215	582,534,817	△ 66,816,602
	増 減 額 (B)-(A)	△ 5,785	△ 5,183	△ 602
	収 入 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%

ア. 医業収益について

指定管理者制度により、医業収益は 0円となっている。

イ. 医業外収益について

医業外収益では、予算現額 に対して 100.0%の収入率となっているが、そのうち補助金と負担金が95.6%を占めている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
受取利息配当金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
国・県補助金	11,134,000	2.1%	45,016,000	7.7%	△ 33,882,000	△ 75.27%
他会計補助金	264,516,768	51.3%	285,846,108	49.1%	△ 21,329,340	△ 7.46%
他会計負担金	217,479,915	42.2%	214,684,428	36.9%	2,795,487	1.30%
その他						
その他医業外収益	21,511,936	4.2%	35,226,935	6.0%	△ 13,714,999	△ 38.93%
計	21,511,936	4.2%	35,226,935	6.0%	△ 13,714,999	△ 38.93%
小計	514,642,619	99.8%	580,773,471	99.7%	△ 66,130,852	△ 11.39%
仮受消費税及び地方消費税	1,075,596	0.2%	1,761,346	0.3%	△ 685,750	△ 38.93%
合計	515,718,215	100.0%	582,534,817	100.0%	△ 66,816,602	△ 11.47%

○ 受取利息配当金

当年度、前年度とも0円である。

○ 国・県補助金

当年度は、11,134,000円となっている。

○ 他会計補助金

当年度一般会計補助金は、264,516,768円となっている。

○ 他会計負担金

当年度一般会計負担金は、217,479,915円となっている。

○ その他医業外収益

当年度21,511,936円は、前年度指定管理料の精算金である。

ウ. 特別利益について

特別利益は、予算現額1,000円に対し、決算額は0円となっている。

② 支出

収益的支出については、予算現額873,407,000円に対し、決算額が873,399,521円となっており、執行率は100.0%となっている。

収益的支出の当年度内容及び前年度との比較状況は次のとおりである。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
医 業 費 用	予 算 現 額 (A)	727,745,000	759,308,000	△ 31,563,000
	決 算 額 (B)	727,741,499	759,305,249	△ 31,563,750
	不 用 額 (A)-(B)	3,501	2,751	750
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%
医 業 外 費 用	予 算 現 額 (A)	145,659,000	180,912,000	△ 35,253,000
	決 算 額 (B)	145,658,022	180,910,874	△ 35,252,852
	不 用 額 (A)-(B)	978	1,126	△ 148
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%
特 別 損 失	予 算 現 額 (A)	2,000	2,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	不 用 額 (A)-(B)	2,000	2,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
予 備 費	予 算 現 額 (A)	1,000	1,000	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	不 用 額 (A)-(B)	1,000	1,000	0
	執 行 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
計	予 算 現 額 (A)	873,407,000	940,223,000	△ 66,816,000
	決 算 額 (B)	873,399,521	940,216,123	△ 66,816,602
	不 用 額 (A)-(B)	7,479	6,877	602
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%

ア. 医業費用について

医業費用の決算額は、予算現額に対して 100.0%の執行率となっており、その内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
経費	384,559,510	52.8%	414,370,191	54.6%	△ 29,810,681	△ 7.19%
旅費	27,580	0.0%	0	0.0%	27,580	皆増
需用費	53,977	0.0%	0	0.0%	53,977	皆増
役務費	318,000	0.1%	261,000	0.1%	57,000	21.84%
委託料	252,380,953	65.6%	287,496,191	69.4%	△ 35,115,238	△ 12.21%
負担金補助及び交付金	131,779,000	34.3%	126,613,000	30.5%	5,166,000	4.08%
小計	384,559,510	100.0%	414,370,191	100.0%	△ 29,810,681	△ 7.19%
減価償却費	330,547,199	45.4%	330,547,199	43.5%	0	0.00%
資産減耗費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	715,106,709	98.3%	744,917,390	98.1%	△ 29,810,681	△ 4.00%
仮払消費税及び地方消費税	12,634,790	1.7%	14,387,859	1.9%	△ 1,753,069	△ 12.18%
合計	727,741,499	100.0%	759,305,249	100.0%	△ 31,563,750	△ 4.16%

○ 経費

委託料（指定管理料）が経費全体で65.6%を占めている。

○ 減価償却費

決算額 330,547,199円は、建物や構築物、器械備品など有形固定資産減価償却費である。

○ 資産減耗費

当年度、前年度とも0円ある。

イ. 医業外費用について

医業外費用は、予算現額に対して 100.0%の執行率となっている。

また、雑支出には仮受・仮払消費税及び地方消費税の精算金11,559,194円を費用化しているため、その額の控除後が医業外費用決算額となっている。

なお、医業外費用の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
支払利息及び企業債取扱諸費	118,523,915	81.4%	119,646,767	66.1%	△ 1,122,852	△ 0.94%
雑支出	38,693,301	26.6%	73,890,620	40.8%	△ 35,197,319	△ 47.63%
小計	157,217,216	107.9%	193,537,387	107.0%	△ 36,320,171	△ 18.77%
消費税及び地方消費税(精算分)	△ 11,559,194	△ 7.9%	△ 12,626,513	△ 7.0%	1,067,319	△ 8.45%
合計	145,658,022	100.0%	180,910,874	100.0%	△ 35,252,852	△ 19.49%

○ 支払利息及び企業債取扱諸費

当年度決算額118,523,915円は、企業債に係る利息償還金である。

○ 雑支出

当年度決算額38,693,301円は、仮受・仮払消費税及び地方消費税の精算金11,559,194円、控除対象外消費税償却費27,134,107円である。

ウ. 特別損失について

特別損失は、予算現額2,000円に対し、決算額は0円となっている。

エ. 予備費について

予算現額1,000円に対し、決算額は0円となっている。

(2) 資本的収入及び支出

① 収入

資本的収入は、予算現額 69,175,000円に対し、決算額が 69,173,268円となっており、収入率は 100.0%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
企 業 債	予 算 現 額 (A)	0	0	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	0	0	0
	収 入 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
一般会計出資金	予 算 現 額 (A)	31,587,000	24,738,000	6,849,000
	決 算 額 (B)	31,586,735	24,737,588	6,849,147
	増 減 額 (B)-(A)	△ 265	△ 412	147
	収 入 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%
他会計負担金	予 算 現 額 (A)	23,832,000	16,770,000	7,062,000
	決 算 額 (B)	23,830,533	16,768,812	7,061,721
	増 減 額 (B)-(A)	△ 1,467	△ 1,188	△ 279
	収 入 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%
他会計借入金	予 算 現 額 (A)	0	0	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	0	0	0
	収 入 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
国庫補助金	予 算 現 額 (A)	0	0	0
	決 算 額 (B)	0	0	0
	増 減 額 (B)-(A)	0	0	0
	収 入 率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
県補助金	予算現額 (A)	13,756,000	0	13,756,000
	決算額 (B)	13,756,000	0	13,756,000
	増減額 (B)-(A)	0	0	0
	収入率 (B)/(A)	100.0%	0.0%	100.0%
財産収入	予算現額 (A)	0	34,901,000	△ 34,901,000
	決算額 (B)	0	34,900,908	△ 34,900,908
	増減額 (B)-(A)	0	△ 92	92
	収入率 (B)/(A)	0.0%	100.0%	△ 100.0%
緒収入	予算現額 (A)	0	0	0
	決算額 (B)	0	0	0
	増減額 (B)-(A)	0	0	0
	収入率 (B)/(A)	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	予算現額 (A)	69,175,000	76,409,000	△ 7,234,000
	決算額 (B)	69,173,268	76,407,308	△ 7,234,040
	増減額 (B)-(A)	△ 1,732	△ 1,692	△ 40
	収入率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%

ウ. 企業債について

当年度の企業債の執行額は、0円である。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
企業債	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

エ. 出資金について

当該出資金は、予算現額に対して100.0%の収入率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
一般会計出資金	31,586,735	100.0%	24,737,588	100.0%	6,849,147	27.69%
合計	31,586,735	100.0%	24,737,588	100.0%	6,849,147	27.69%

○ 一般会計出資金

当年度決算額31,586,735円は、企業債元金償還金充当分31,586,685円と建設改良費出資金50円で、対前年度比27.69%の増となっている。

オ. 負担金について

当該負担金は、予算現額に対して100.0%の収入率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
他会計負担金	23,830,533	100.0%	16,768,812	100.0%	7,061,721	42.11%
合計	23,830,533	100.0%	16,768,812	100.0%	7,061,721	42.11%

○ 他会計負担金

当年度決算額23,830,533円は、企業債元金償還金に対する一般会計からの負担金である。

カ. 借入金について

当年度の借入金は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
他会計借入金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

キ. 国庫補助金について

当年度の国庫補助金は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

ク. 県補助金について

当年度の県補助金は、13,756,000円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
県補助金	13,756,000	100.0%	0	0.0%	13,756,000	皆増
合計	13,756,000	100.0%	0	0.0%	13,756,000	皆増

○ 県補助金

当年度決算額13,756,000円は、地域医療再生基金事業費補助金である。

ケ. 財産収入について

当年度の財産収入は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
固定資産売却代金	0	0.0%	34,900,908	100.0%	△ 34,900,908	皆減
小計	0	0.0%	34,900,908	100.0%	△ 34,900,908	皆減
仮受消費税及び地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	34,900,908	100.0%	△ 34,900,908	皆減

コ. 諸収入について

当年度の諸収入は、0円となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
緒収入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
小計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
仮受消費税及び地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.00%

② 支出

資本的支出は、予算現額 69,175,000円に対し、決算額は 69,173,268円となっており、執行率は100.0%となっている。なお、当年度の内容及び前年度との比較状況は、次のとおりとなっている。

(単位:円、%)

区 分		平成25年度 (ア)	平成24年度 (イ)	対前年度比較 (ア)-(イ)
建設改良費	予 算 現 額 (A)	13,757,000	1,000	13,756,000
	決 算 額 (B)	13,756,050	0	13,756,050
	不 用 額 (A)-(B)	950	1,000	△ 50
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	0.0%	100.0%
企業債償還金	予 算 現 額 (A)	55,418,000	76,408,000	△ 20,990,000
	決 算 額 (B)	55,417,218	76,407,308	△ 20,990,090
	不 用 額 (A)-(B)	782	692	90
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%
合 計	予 算 現 額 (A)	69,175,000	76,409,000	△ 7,234,000
	決 算 額 (B)	69,173,268	76,407,308	△ 7,234,040
	不 用 額 (A)-(B)	1,732	1,692	40
	執 行 率 (B)/(A)	100.0%	100.0%	0.0%

ア. 建設改良費について

当年度の建設改良費決算額13,756,050円は身障者駐車場アーチ設置工事の実施によるものである。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
建設改良費	13,101,000	95.2%	0	0.0%	13,101,000	皆増
小計	13,101,000	95.2%	0	0.0%	13,101,000	皆増
仮払消費税及び地方消費税	655,050	4.8%	0	0.0%	655,050	皆増
合計	13,756,050	100.0%	0	0.0%	13,756,050	皆増

イ. 企業債償還金について

当年度の企業債償還金については、予算現額に対し 100.0%の執行率となっている。

(単位:円、%)

区分	平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
企業債償還金	55,417,218	100.0%	76,407,308	100.0%	△ 20,990,090	△ 27.47%
合計	55,417,218	100.0%	76,407,308	100.0%	△ 20,990,090	△ 27.47%

○ 企業債償還金

当年度決算額 55,417,218円は、企業債の元金償還金である。

3. 経営成績（消費税抜き）

事業損益（税抜き）

当年度の事業損益は、357,681,306円の純損失を計上している。

(単位:円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
医業収益 A	0	0	0	0.00%
医業費用 B	715,106,709	744,917,390	△ 29,810,681	△ 4.00%
医業利益 (A-B) C	△ 715,106,709	△ 744,917,390	29,810,681	△ 4.00%
医業外収益 D	514,642,619	580,773,471	△ 66,130,852	△ 11.39%
医業外費用 E	157,217,216	193,537,387	△ 36,320,171	△ 18.77%
医業外利益 (D-E) F	357,425,403	387,236,084	△ 29,810,681	△ 7.70%
経常利益 (C+F) G	△ 357,681,306	△ 357,681,306	0	0.00%
特別利益 H	0	0	0	0.00%
特別損失 I	0	0	0	0.00%
特別利益 (H-I) J	0	0	0	0.00%
当年度純利益 (G+J) K	△ 357,681,306	△ 357,681,306	0	0.00%

(注) 当年度純利益 (K) 欄が「△」の場合は、純損失を示す。

(単位:円、%)

区分	平成25年度	平成24年度	対前年度比較	
			増減額	増減率
前年度未処分利益剰余金 L	△ 1,076,500,382	△ 718,819,076	△ 357,681,306	49.76%
前年度利益剰余金処分量 M	0	0	0	0.00%
繰越利益剰余金年度末残高 (L-M) N	△ 1,076,500,382	△ 718,819,076	△ 357,681,306	49.76%
当年度純利益 K	△ 357,681,306	△ 357,681,306	0	0.00%
当年度未処分利益剰余金 (N+K) O	△ 1,434,181,688	△ 1,076,500,382	△ 357,681,306	33.23%
累積欠損金 (O欄が△の場合)	1,434,181,688	1,076,500,382	357,681,306	33.23%

(注) L、N及びO欄が「△」の場合は、欠損金を示す。

4. 財務状況

(1) 資産及び負債・資本（消費税抜き）

当年度の資産及び負債・資本の状況は、次のとおりである。

(単位:円、%)

区分		平成25年度		平成24年度		対前年度比較	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
資産	固定資産 A	7,531,298,384	94.5%	7,848,744,583	94.5%	△ 317,446,199	△ 4.0%
	流動資産 B	110,090,000	1.4%	105,924,000	1.3%	4,166,000	3.9%
	うち現金預金	98,956,000	1.2%	95,038,000	1.1%	3,918,000	4.1%
	うち未収金	11,134,000	0.1%	10,886,000	0.1%	248,000	2.3%
	繰延勘定 C	327,125,379	4.1%	353,604,436	4.3%	△ 26,479,057	△ 7.5%
計 (A~C) D	7,968,513,763	100.0%	8,308,273,019	100.0%	△ 339,759,256	△ 4.1%	
負債	固定負債 E	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	流動負債 F	110,090,000	1.4%	105,924,000	1.3%	4,166,000	3.9%
	計 (E+F) G	110,090,000	1.4%	105,924,000	1.3%	4,166,000	3.9%
資本	資本金 H	8,043,667,451	100.9%	8,043,667,401	96.8%	50	0.0%
	うち自己資本金	1,394,810,454	17.5%	1,339,393,186	16.1%	55,417,268	4.1%
	剰余金 I	△ 185,243,688	△ 2.3%	158,681,618	1.9%	△ 343,925,306	△ 216.7%
	計 (H+I) J	7,858,423,763	98.6%	8,202,349,019	98.7%	△ 343,925,256	△ 4.2%
負債・資本 計 (G+J)		7,968,513,763	100.0%	8,308,273,019	100.0%	△ 339,759,256	△ 4.1%

○ 資産

資産を前年度と比較すると、減価償却費の計上に伴い、固定資産においては4.0%の減、繰延勘定では7.5%減となり、流動資産の内、現金預金が4.1%の増となっているものの、全体では4.1%の減となっている。

○ 負債

負債を前年度と比較すると、流動負債において3.9%の増となっているが、これは政策的医療交付金110,090,000円の未払金である。

○ 資本

資本では、剰余金が対前年度比216.7%の減となっているが、全体では4.2%の減となっている。

(2) 主要財務比率（消費税抜き）

当年度の主要財務比率の状況は、次のとおりである。

① 流動比率

平成25年度		平成24年度 比 率	類似病院指標 (平成24年度)		
算 式	比 率				
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>流動資産</td></tr> <tr><td>110,090,000</td></tr> </table>	流動資産	110,090,000	100.00%	100.00%	/
流動資産					
110,090,000					
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>流動負債</td></tr> <tr><td>110,090,000</td></tr> </table>	流動負債	110,090,000			
流動負債					
110,090,000					

※ 流動比率は、1年以内に「現金化できる資産」と「支払わなければならない負債」とを比較するもので、流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれる。したがって、理想的な比率としては、200%以上であるといわれている。

② 酸性試験比率（当座比率）

平成25年度		平成24年度 比 率	類似病院指標 (平成24年度)						
算 式	比 率								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>現金預金</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td>未収金</td> </tr> <tr> <td>98,956,000</td> <td></td> <td>11,134,000</td> </tr> </table>	現金預金	+	未収金	98,956,000		11,134,000	100.00%	100.00%	/
現金預金	+	未収金							
98,956,000		11,134,000							
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>流動負債</td></tr> <tr><td>110,090,000</td></tr> </table>	流動負債	110,090,000							
流動負債									
110,090,000									

※ 酸性試験比率は当座比率の別名で、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化する未収金などの当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。

③ 自己資本構成比率

平成25年度		平成24年度 比 率	類似病院指標 (平成24年度)						
算 式	比 率								
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>自己資本金</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td>剰余金</td> </tr> <tr> <td>1,394,810,454</td> <td></td> <td>△ 185,243,688</td> </tr> </table>	自己資本金	+	剰余金	1,394,810,454		△ 185,243,688	15.18%	18.03%	/
自己資本金	+	剰余金							
1,394,810,454		△ 185,243,688							
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>負債・資本合計</td></tr> <tr><td>7,968,513,763</td></tr> </table>	負債・資本合計	7,968,513,763							
負債・資本合計									
7,968,513,763									

※ 自己資本構成比率は、総資本（負債・資本合計）に占める自己資本（自己資本金+剰余金）の割合を示すもので、比率が高いほど経営の安全性が大きいものといえる。

④ 経常収支比率

平成25年度		平成24年度 比 率	類似病院指標 (平成24年度)														
算 式	比 率																
<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">(経常収益)</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">医業収益</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">+ 医業外収益</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">514,642,619</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><hr style="border: 0.5px solid black;"/></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">医業費用</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">+ 医業外費用</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">715,106,709</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">157,217,216</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(経常費用)</td> </tr> </table>		(経常収益)		医業収益	+ 医業外収益	0	514,642,619	<hr style="border: 0.5px solid black;"/>		医業費用	+ 医業外費用	715,106,709	157,217,216	(経常費用)		59.00%	61.89%
(経常収益)																	
医業収益	+ 医業外収益																
0	514,642,619																
<hr style="border: 0.5px solid black;"/>																	
医業費用	+ 医業外費用																
715,106,709	157,217,216																
(経常費用)																	

※ 経常収支比率は、経常収益対経常費用比率とも言われ、経常収益（医業収益+医業外収益）と経常費用（医業費用+医業外費用）を対比したもので、100%を超えることが目安となり、100%を超えるほど収益率が高い。

⑤ 医業収支比率

平成25年度		平成24年度 比 率	類似病院指標 (平成24年度)										
算 式	比 率												
<table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">医業収益</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">+ 医業収益充当他会計負担金等</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><hr style="border: 0.5px solid black;"/></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">医業費用</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">715,106,709</td> </tr> </table>		医業収益	+ 医業収益充当他会計負担金等	0	0	<hr style="border: 0.5px solid black;"/>		医業費用		715,106,709		0.00%	0.00%
医業収益	+ 医業収益充当他会計負担金等												
0	0												
<hr style="border: 0.5px solid black;"/>													
医業費用													
715,106,709													

※ 医業収支比率は、業務活動によってもたらされた医業収益（医業収益充当他会計負担金等を含む。）とそれに要した医業費用とを対比することによって、業務活動の能率を示すもので、これによって経営の成否が判断される。比率が100%未満の場合は、医業収益で医業費用を賄えないことを示すため、経営の見直しなどが必要となる。

⑥ 現金預金比率

平成25年度		平成24年度 比 率	類似病院指標 (平成24年度)
算 式	比 率		
現金預金 98,956,000	89.89%	89.72%	/
流動負債 110,090,000			

※ 現金預金比率は、流動負債に対する現金預金の割合を示す比率で、20%以上が理想値とされている。

5. 地方債現在高

前々年度、前年度及び当年度末の地方債現在高は、次のとおりである。

(単位:千円)

区 分	平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	年度末現在高	対前年度 増減率	年度末現在高	対前年度 増減率	年度末現在高	対前年度 増減率
地方債	6,536,959	△ 0.84%	6,592,377	△ 1.15%	6,668,784	△ 0.57%

6. むすび

以上、予算執行状況及び財政状況、経営成績等についてその内容を審査した結果、経営成績では357,681千円（前年度と同額）の純損失となっており、累積欠損金も1,434,181千円となっている。

当病院事業会計は、開設時から指定管理者制度を採用し利用料金制により運営されていることから、医業収益が発生していないため、主な費用となっている指定管理料265,000千円（消費税込み）や病院建設時における借入償還利子118,524千円など一般会計からの負担金及び補助金で賄われているのが実態である。指定管理料の低減が見られるが、総費用873,400千円に占める割合では30.3%（前年度32.1%）と高い構成を示している。

今後については、地域医療の拠点機能の充実と安定を図るため、医師確保対策には指定管理者との連携強化のもとで医師不足の解消に努められ、指定管理料の低減化による経営の安定性の確保の観点から、経営実態の把握や分析をもとに、指定管理者の経営に対する意欲喚起をも含め効率的な経営に資することを望むものである。